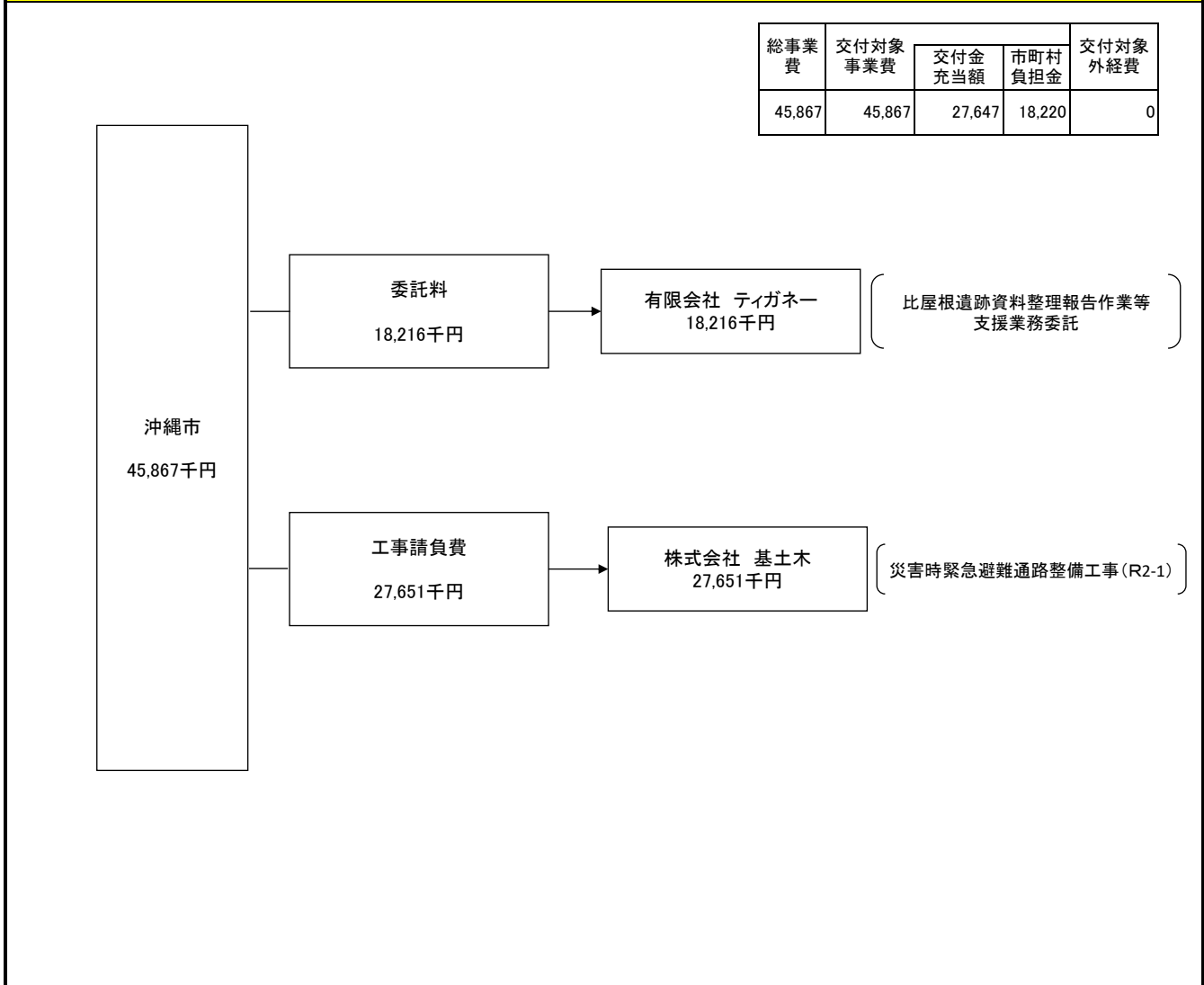


市町村名		沖縄市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	災害時緊急避難通路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和3年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	
		(a)当初予算額	25,524	-	25,000	46,079	-
		(b)予算現額	25,524	-	25,000	46,079	-
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	-
		(d)繰越額	-	16,366	0		17,039
		A.計(b+d)	25,524	16,366	25,000	46,079	17,039
		B.執行済額	9,158	14,657	25,000	28,886	16,981
		うち交付金充当額	7,326	-	20,000	23,108	4,539
		次年度繰越額	16,366	0	0	17,039	0
		執行率(%) (B/A)	35.9%	89.6%	100.0%	62.7%	99.7%
予算の状況の説明		令和2年度に発注を行ったが、入札不調(不落)が続き、業者決定までに時間を要し、年度内の工事完了が難しいことから、工事予算額27,709千円の内、前払い金(10,670千円)を除く17,039千円を令和3年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	桃原地区1路線157mの整備工事	目標	(1路線157mの工事実施)	()	()	()	
		実績	1路線157mの工事実施				
	与儀地区1路線180mの整備工事	目標	()	()	(1路線180mの工事実施)	()	
		実績			1路線180mの工事実施		
	比屋根地区1路線70mの整備工事	目標	(1路線81mの工事実施)	(1路線30mの工事実施)	()	(1路線70mの工事実施)	
実績		1路線81mの工事実施	1路線30mの工事実施		1路線70mの工事実施		
比屋根遺跡資料整理報告作業等支援業務委託	目標	()	(-)	()	(調査実施)		
	実績		-		調査完了		
達成状況説明	令和2年度に比屋根地区(1路線70m)における災害時緊急避難通路の整備工事を発注及び工事着手し、令和3年度に工事完了し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	与儀地区1路線180mの整備工事の完了	目標	()	()	(1路線180mの工事着手)	()	()
		実績			1路線180mの完了		
	比屋根地区1路線70mの整備工事の完了	目標	()	(1路線30mの工事着手)	()	(1路線70mの工事着手)	()
		実績		1路線30mの工事完了		1路線70mの工事完了	
【参考指標】 供用開始後1年目の目標を以下のとおりとする。 ・避難訓練の実施1回	目標	()	(避難訓練の実施1回)	(避難訓練の実施1回)	(避難訓練の実施1回)	(避難訓練の実施1回)	
実績		実施1回	実施0回	実施0回			
進捗状況説明	津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図るため、令和3年度に比屋根地区(1路線70m)における災害時緊急避難通路の整備を完了した。避難訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、周知活動の取り組みとして、整備完了した路線について防災マップへの表示、地域への広報チラシの配布、市のホームページへの掲載を行っている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 緊急避難通路の工事は入札不調(不落)が続き、業者決定まで時間を要す場合があること等から、年度早期の発注を継続して行い、適切な執行計画としていく必要がある。 災害時緊急避難通路に関して、整備後に住民周知が必要であり、これまで、防災訓練等により当該路線を活用し住民周知を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の対応を考慮し、避難訓練以外による周知方法について検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札不調が発生した場合の対応期間を想定し、繰越とならないように当該工事の工期設定や、入札手続きの計画的な実施を検討する。 当該避難通路の周知については、市の防災マップへの表示、市ホームページによる周知を行うと共に、自治会とも連携を図りながら、地域住民への広報チラシの配布、自治会でのポスター掲示等による周知の取組が必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 工事の早期発注ができるように、入札不調に対応できる期間を確保し、適切な入札手続きを行っていく。 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、避難訓練以外による周知方法として、防災マップへの掲示、自治会でのポスター掲示、地域住民への広報チラシの配布による周知活動を行うとともに、市ホームページ掲載した後の住民への災害時避難通路の新たな周知活動の方策について検討を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

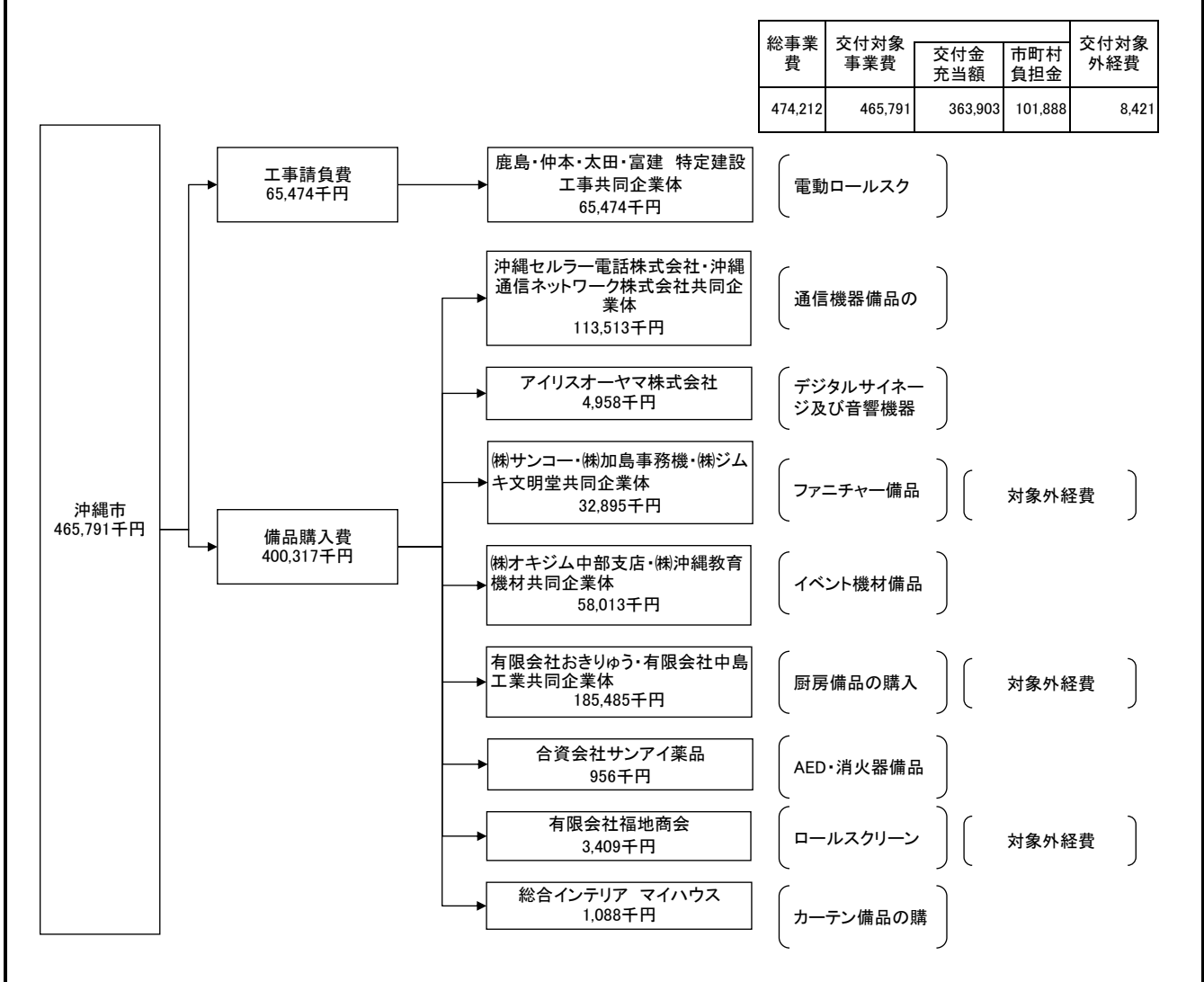


資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先の選定は、指名競争入札を行った上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	防災拠点体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	500,328	-			
		(b)予算現額	500,328	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d)繰越額	0	4,957			
		A.計(b+d)	500,328	4,957	0	0	0
		B.執行済額	460,834	4,957			
		うち交付金充当額	360,032	3,871			
		次年度繰越額	4,957	0			
		執行率(%) (B/A)	92.1%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	メーカーの受注システムの障害により、設置予定備品の納品に不測の日数を要したことで、年度内での完了が困難となり、繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	備品整備の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	備品整備を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	備品整備の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【参考指標】 整備した備品を活用した防災活動(1回以上/年、防災訓練含む)の実施	目標	()	()	()	()	(1回以上)
		実績					
	進捗状況説明	備品整備を完了することができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・備品整備が完了し、今後は、防災拠点としての適切な運営が求められる。	・災害時に、防災拠点として適切に運営するため、定期的に防災訓練等を実施する必要がある。
	今後の取り組み方針	
・年に1回以上防災訓練等を実施し、災害時に適切な対応ができるよう取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、入札、公募型プロポーザルによる選定及び地方自治法の規定に基づいており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

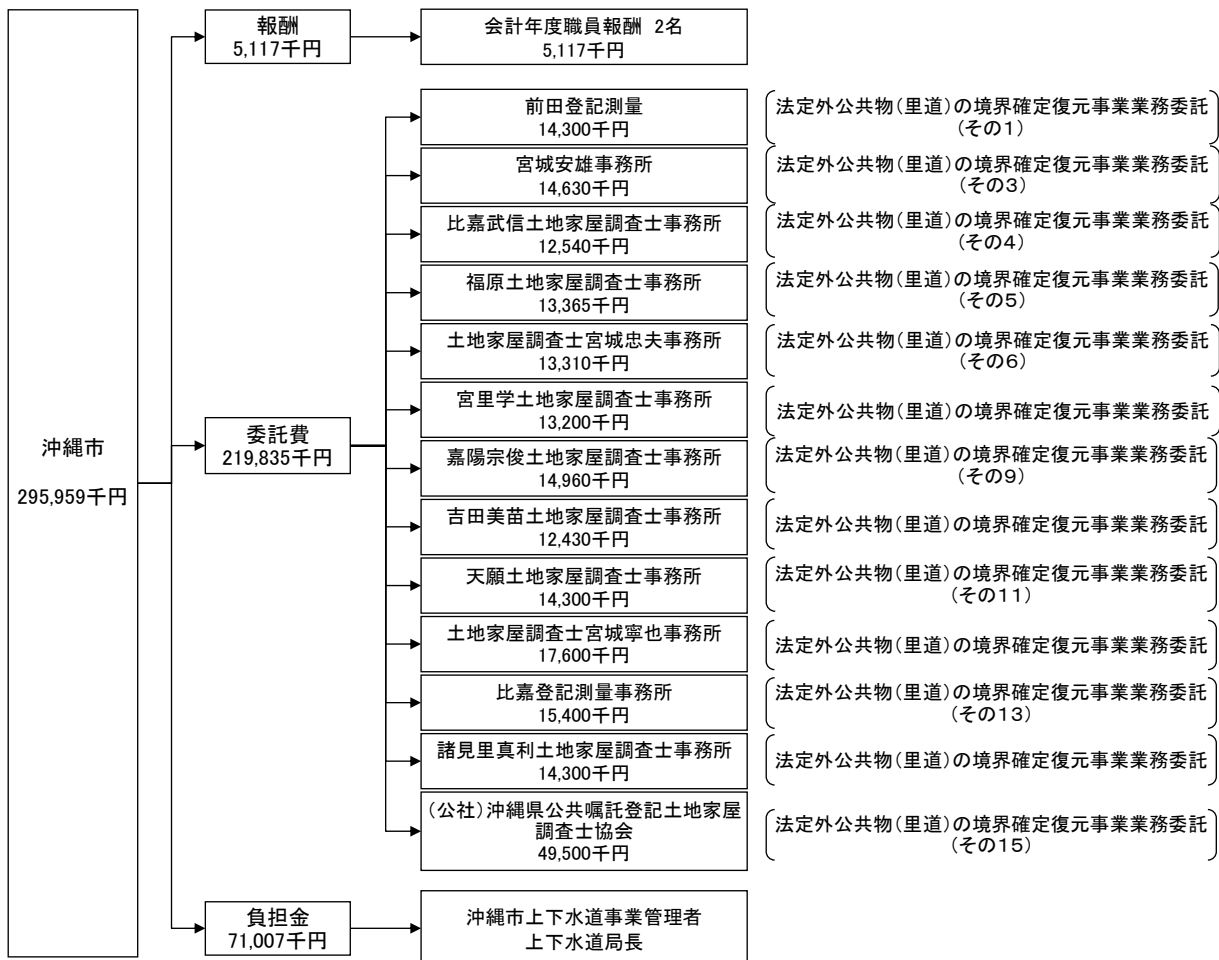
市町村名		沖縄市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	里道および水路の境界確定復元事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
担当部署	建設部 道路課 建設部 下水道課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決		
事業内容	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元測量を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4 年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	133,611	176,978	186,010	299,353	-
		(b) 予算現額	133,220	176,978	232,100	299,353	-
		(c) 増減額(b-a)	▲ 391	0	46,090	0	-
		(d) 繰越額	-	-	-	-	49,500
		A. 計(b+d)	133,220	176,978	232,100	299,353	49,500
		B. 執行済額	133,039	173,228	230,836	246,459	49,500
		うち交付金充当額	106,430	138,582	184,668	197,767	39,600
		次年度繰越額	0	0	0	49,500	
		執行率(%) (B/A)	99.9%	97.9%	99.5%	82.3%	100.0%
予算の状況の説明	委託業務において入札不調による設計書や仕様書の見直しが生じたこと、また隣接地権者である沖縄総合事務局財務部統括国有財産管理官より、国有地の貸付財産における契約更新のため、土地境界立会、確定業務を一時中断している旨の連絡を受け、立会に不測の日数を要したため、委託費にかかる49,500千円が令和3年度に繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	里道の境界確定測量	目標	(境界確定測量実施)	(10,500m)	(15,000m)	(22,000m)	
		実績	境界確定測量実施	10,590m	15,224m	22,427m	
	水路の境界確定測量	目標	(境界確定測量実施)	(3,000m)	(3,038m)	(3,517m)	
実績		境界確定測量実施	3,060m	2,814m	3,493m		
達成状況説明	境界が不明確な里道について、境界確定及び復元測量を実施し、目標に対し約102%の実績となっている。境界が不明確な水路について、境界確定及び復元作業を実施したが、労務単価の増加の影響により目標値には到達できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	確定測量の完了	目標	()	(確定測量の完了)	(確定測量の完了)	(確定測量の完了)	()
		実績	/	確定測量の完了	確定測量の完了	確定測量の完了	/
	表示登記申請の完了	目標	()	(表示登記申請の完了)	(表示登記申請の完了)	(表示登記申請の完了)	()
		実績	/	表示登記申請の完了	表示登記申請の完了	表示登記申請の完了	/
進捗状況説明	【参考指標】 策定した(仮)沖縄市法定外公共物管理計画の中で、個人敷地に占用されている里道及び水路の占用手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。					計画書に基づいた施策の実施	
進捗状況説明	事前に当該自治会へ事業について説明を行い地域の理解、協力も得た上で、住民等(隣接土地所有者等)に対し、書面での事前説明を行い境界立会を実施したことにより、里道境界確定測量及び水路境界確定測量は事業計画どおりに完了し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 境界確定測量の円滑な実施にむけて、地域の理解や協力が必要となる。 これまでに境界確定測量を実施した里道及び水路の資料が膨大になっている。 現況と境界に相違があり、個人の物品や工作物が無断で設置されている法定外公共物があるため、対応方法について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 境界確定測量の実施に向けて、引き続き当該自治会への説明及び住民等への事前説明を行っていく。 これまでに境界確定測量を実施した里道及び水路の資料をデータ化するなど、整理する必要がある。 個人の物品や工作物が設置されている法定外公共物について、位置情報や図面等を取りまとめた台帳を作成し、対応方針を決め、健全な土地利用に向けた管理方針策定等について検討していく必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施にあたっては、今後も継続して、事前に自治会へ説明を行い地域の理解、協力を得た上で、里道及び水路敷きの隣接土地所有者に対し、事前説明を行い、現地での境界確認行っていくと共に、更に理解を得やすくする手法があるか検討を行う。 里道約125,000mの内4,849mの境界確定測量を実施し不明確な里道の位置を確定する。 これまでに境界確定測量を実施した里道及び水路について、GISシステムを活用し、位置情報や図面などの資料をデータ化する。また1筆毎に現況を整理した台帳の作成を行う。 上記、台帳を基に、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定し、里道、水路の占用、用途廃止等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
295,959	295,959	236,767	59,192	0

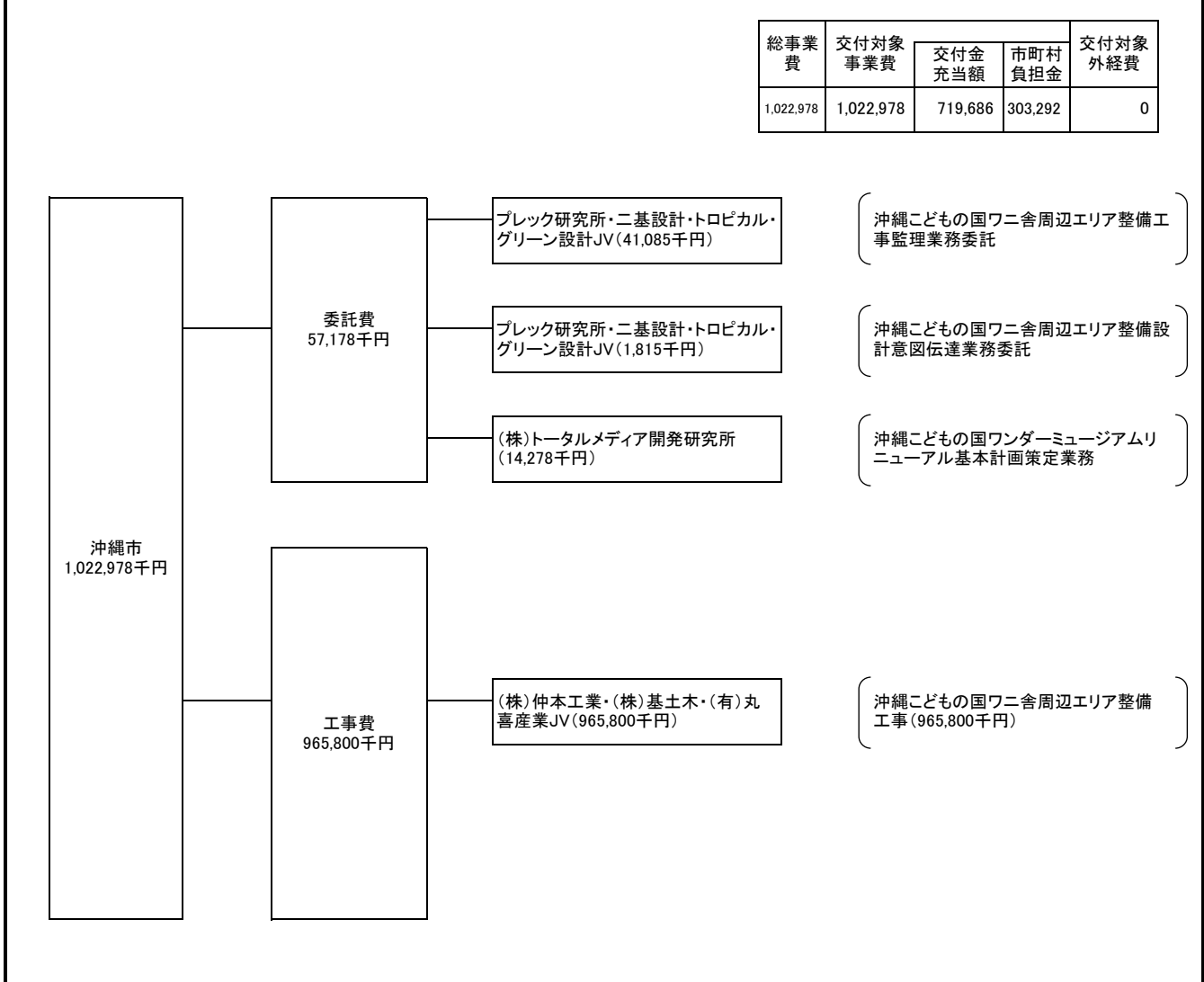


資金の流 れ、費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は競争入札により選定しており、妥当な選定方法であったと考えている。 ○委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正に行っている。 ○費目・使途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		沖縄市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	沖縄こどもの国施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア	
担当部署名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園やワンダーミュージアムの充実を図るとともに、動物展示施設やミュージアム展示施設の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R3年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	
	(a) 当初予算額	-	750,000	-	1,057,981	-	
	(b) 予算現額	-	720,489	-	1,057,981	-	
	(c) 増減額(b-a)	-	▲29,511	-	0	-	
	(d) 繰越額	454,725	-	440,649	-	636,658	
	A. 計(b+d)	454,725	720,489	440,649	1,057,981	636,658	
	B. 執行済額	454,725	279,840	440,649	386,320	636,658	
	うち交付金充当額	363,780	223,872	352,519	309,056	410,630	
	次年度繰越額	-	440,649	-	636,658	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	38.8%	100.0%	36.5%	100.0%	
予算の状況の説明	施工範囲に崩落の恐れのある外構が確認されたことで、安全対策の検討に不測の日数を要したことで年度内での完了が困難となり繰り越した						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	サル舎施設演出工事の実施 琉球弧エリア環境演出工事の実施 ワンダーミュージアムの展示品等整備の実施 ワンダーミュージアムの空調整備実施 猛獣舎新築工事(その2)の実施	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	クマエリア周辺整備(第1期)の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
ワニ舎周辺エリア整備工事の実施	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
説 明 状 況	・R1年度繰越のクマエリア周辺整備工事(第1期)については、計画通り実施し、目標を達成した。 ・R2年度のワニ舎周辺エリア整備工事については、R3年度へ繰越が生じた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	サル舎施設演出工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	琉球弧エリア環境演出工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	ワンダーミュージアムの展示品等整備の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	ワンダーミュージアムの空調整備完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	クマ舎周辺エリア整備工事(第1期)	目標	()	()	(実施)	()	()
実績				実施			
ワニ舎周辺エリア整備工事の完了	目標	()	()	()	(完了)	()	
	実績				完了		
入園者数	目標	()	(48万人)	(60万人)	(60万人)	(65万人)	
	実績		49万人	53万人	32万人		
説 明 状 況	・繰越となったが、成果目標については、目標どおりワニ舎周辺エリア整備工事を完了した。 ・令和2年度の入園者数はコロナ禍による施設の休園、イベント中止等の影響により目標値を下回る入園実績となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【ワニ舎周辺エリア整備工事】 沖縄県特有の気候を生かし、ワニやジャガー、オオアリクイなど主に熱帯地方に生息する複合動物展示施設の整備を実施した。</p> <p>【年間入園者数】 新型コロナウイルス感染症の影響により目標入園者数を下回る実績となった。</p>	<p>【ワニ舎周辺エリア整備工事】 整備した施設を活用して動物の生態行動を促す展示や、エサ上げや飼育体験など来園者の満足度向上につながるソフトサービスを検討が必要である。</p> <p>【年間入園者数】 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により制約された施設運営となるが、屋外施設であることを踏まえた感染対策や動物展示などの取り組みを検討する必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>【ワニ舎周辺エリア整備工事】 動物の生態行動を促す展示や、エサ上げや飼育体験など来園者の満足度向上につながるソフトサービスを検討して、誘客につながる取組を実施する。</p> <p>【年間入園者数】 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により制約された施設運営となるが、屋外施設であることを踏まえた感染対策や動物展示などの取り組みにより入園者数の回復を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は100%であり、予算規模は適正と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	